

危険物新聞

第 6 3 3 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集人 三 好 治 雄
発行人

大阪市西区新町1丁目5番7号

四ツ橋ビル

TEL 06(6531)9717・5910

定価 1部 60円

第 4 回試験は大阪市立大で 12月 3 日(日) 実施

消防試験研究センター 大阪府支部では、平成18年度第4回危険物取扱者試験を12月3日(日)大阪市内の大阪市立大学で次のとおり実施します。

試 験 日	12月3日(日) ・乙種 4 類(午前・午後) ・甲種、4 類以外の乙種、丙種(午後)
試 験 会 場	大阪市立大学 (大阪市住吉区)
願 書 受 付	10月23日(月)～11月2日(木)必着 (郵送又は持込)
願書受付場所	消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル 2 F TEL 06-6941-8430

※試験当日の集合時間は次のとおりです。

- ・午前…… 9 時30分 (試験開始10時より)
- ・午後……13時 (試験開始13時30分より)

〔受験資格について〕

- 甲種** ① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
② 高専・短大及び大学で化学の授業科目を15単位以上取得した者。(在学中でも可)

- ③ 乙種免状交付後、2年以上の危険物取扱の実務経験者。

乙種 受験資格の制限はありません。

丙種 受験資格の制限はありません。

合格への近道！

危険物取扱者試験受験準備講習会について

大阪府危険物安全協会では、平成18年度第4回受験準備講習会を11月8日(水)から甲種、乙種4類、丙種について府下10会場で開催します。

当講習会では、過去に出題された問題や傾向を詳細に分析し行なっております。

また、各講師陣も的を絞った分かりやすい講習を行なっておりますので、受講者は毎回高い合格率を修めています。

受講申込方法について

この準備講習会の受付につきましては、原則として郵送受付(郵便払込)とインターネットによるEメール(銀行振込)受付等により実施しています。

HATSUTA
E-COSS-DRY & WET

ハツタのエコサイクルシステム

ハツタの「粉末消火薬剤エコサイクルシステム」は、回収した薬剤の異物・変質物を確認・除去し、ハツタ独自のシリコン処理、水分の除去を行って均質化し、原料化するものです。その後、蛍光分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。消火薬剤をリサイクル使用することは「限りある資源の有効利用」と「地球環境汚染防止」に貢献でき、環境問題に取り組むハツタとしても今後さらに力を注いでまいります。

株式会社 初田製作所
<http://www.hatsuta.co.jp>



ECOSS-DRY series ECOBASE ECO BOX

環境を考えた消火器



環境を守る消火器設置台



環境と共存するボックス



◇第4回危険物取扱者試験受験準備講習会予定表

種別	講習日	時間	会場	最寄駅	
甲種	11月13日(月), 11月21日(火), 11月22日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館	地下鉄 本町駅17号出口よりすぐ	
乙種4類	1コース	11月9日(木), 11月10日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館	〃
	2コース	11月20日(月), 11月21日(火)	9時30分～16時	大阪府商工会館	〃
	3コース	11月15日(水), 11月16日(木)	10時～16時30分	堺市民会館	南海高野線 堺東駅より8分
	4コース	11月16日(木), 11月17日(金)	10時～16時30分	泉佐野市消防本部	JR・南海線 りんくタウン駅より8分
	5コース	11月13日(月), 11月14日(火)	10時～16時30分	ノパティながの南館	近鉄・南海 河内長野駅よりすぐ
	6コース	11月8日(水), 11月9日(木)	10時～16時30分	茨木市福祉文化会館	JR・阪急 茨木駅より15分
	土日Aコース	11月18日(土), 11月19日(日)	9時30分～16時30分	p i a N P O	地下鉄 大阪港駅4号出口より4分
	土日Bコース	11月25日(土), 11月26日(日)	9時30分～16時30分	p i a N P O	〃
丙種	11月27日(月)	9時30分～16時30分	四ツ橋ビル	地下鉄 四ツ橋駅2号出口よりすぐ	

(第5回の受験準備講習会の日程につきましては「危険物取扱者試験 受験準備講習会のご案内」又はインターネットの当協会ホームページ <http://www1.odn.ne.jp/~aav74830>を参照ください。)

(1) 申込期間

- ① 常時受付いたします。
- ② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでお早めにお申込みください。

(2) 申込方法

- ① 郵送によりお申込みされる場合
 - a 受講申込書を消防署等でもらってください。
受講申込書「危険物取扱者試験 受験準備講習会のご案内」は、大阪府下の各消防本部及び消防署予防課にあります。なお、ご希望の方には、自宅等に郵送いたしますのでお申し出ください。(TEL06-6531-9717 FAX06-6531-1293までご連絡ください。)
受講申込書に必要事項をご記入の上、払込用紙《郵便局専用》を切り離して、受講料及びテキスト送料の合計金額を郵便局窓口(窓口取扱時間午後4時まで)で払込んでください。(その際、手数料が別途必要となります。また、機械による払込みでは受付できませんのでご注意ください。)

ただし、ご希望の講習日(各コースの初日)の1週間前までに当協会必着をお願いします。

- b 郵便局で払込んだ「郵便振替払込受付証明書(お客さま用)：[準備講習会受講申込書添付用]、下部に赤枠マークのついたもの」を受講申込書に貼り付けして、所定の申込用封筒(オレンジ色)で郵送してください。(市販の封筒を使用していただいても結構です。)
- c 受講申込書が到着次第、受講券とテキストを送付いたします。

② インターネットでお申込みされる場合

当協会ホームページの「危険物取扱者試験受験準備講習案内」欄をご利用ください。

ただし、ご希望の講習日(各コースの初日)の1週間前までに当協会必着をお願いします。

◇当協会ホームページのURL

(<http://www1.odn.ne.jp/~aav74830>)

◇検索して入る方法

- ・危険物→財団法人全国危険物安全協会→協会案内→各都道府県の危険物安全協会→近畿→当協会ホームページ

地下タンク漏れ常時監視装置

(財)全国危険物安全協会
認定番号12・13号



地下タンク点検の事ならお任せ下さい!

安価お見積りをご提示させていただきます。

危険物設備の新設・改造のご相談を受け賜ります。

業務内容

地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売、危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検・各種の巡回清掃、危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売

点検業者用の液相部機器販売

<http://www.nssc.co.jp/>

日本スタンドサービス株式会社

〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17
TEL: 0729-68-2211 FAX: 0729-68-3900

③ 持込受付される場合

- a ご希望の講習日(各コースの初日)の前日まで当協会(大阪市西区新町1-5-7、四ツ橋ビル8F)で受付いたします。(ただし、土・日及び祝日は受付いたしていません。)
- b 申込手続は代理の方でも結構です。

- (注) 1. 受講料には、テキスト代を含みます。
 2. 大阪府危険物安全協会加盟協会会員(会員事業所の社員を含む)は会員価格となります。
 3. 大学、高校及び各種専門学校の学生については学生割引として受講料は会員扱いにいたします。
- 「学生証のコピーを受講申込書に添付して送付してください。持込受付される場合は、申込時に学生証(コピー可)を提示してください。インターネットで受付される場合は、学校名・学生番号を備考欄に記入してください。」
4. 複数の受講者がある場合のテキスト送料は下記のとおりです。

(3) 受講料及びテキスト送料(消費税を含んでいます)

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	16,800円 送料 500円	18,900円 送料 500円
乙種第4類	1～6コース 送料 500円	14,700円 送料 500円
	土日コース 送料 500円	15,750円 送料 500円
丙 種	6,300円 送料 500円	7,350円 送料 500円

甲種	2～5人分	600円	乙種4類	2～6人分	600円
	6～10人分	800円		7～10人分	800円
丙種	1～6人分	500円			

危険物に係る事故の概要

(平成17年中 その3)

消防庁 危険物保安室

3 漏えい事故

(1) 漏えい事故の発生及び被害の状況

平成17年中に発生した危険物に係る漏えい事故416件の内訳は、危険物施設におけるもの 392件、無許可施設におけるもの10件、危険物運搬中のもの14件となっており、それぞれの状況は次のとおりである。

ア 平成17年中に危険物施設において発生した漏えい事故は、392件(前年359件)で、被害は、負傷者19人(同31人)、損害額3億6,543万円(同4億3,183万円)となっている。前年に比べ、事故件数は33件増加し、負傷者は12人、損害額は6,640万円それぞれ減少した。(第14表参照)

漏えい事故1件当たりの平均損害額は93万円で、

これを施設区分別にみると屋内貯蔵所が280万円でも最も高く、次いで製造所が148万円、屋外タンク貯蔵所が140万円となっている。(第15表参照)

また、危険物施設1万施設当たりの漏えい事故の発生件数についてみると、危険物施設全体では7.67となっている。これを施設区分別にみると、移送取扱所が48.82で最も高く、次に製造所の20.06となっている。(第16表、第5図参照)

イ 平成17年中に、無許可施設において10件、危険物運搬中において14件の漏えい事故が発生している。(第17表省略)

(2) 漏えいした危険物

ア 平成17年中に発生した危険物施設における漏えい事故で漏えいした危険物をみると、殆どの事故が第4類の危険物387件(98.7%)で、危険物の品名別では、第2石油類172件(43.9%)、第3石油類156件(39.8%)、第1石油類48件(12.2%)の順となっている。(第18表、第6図省略)

第14表 危険物施設における漏えい事故の発生件数と被害状況の推移(最近の5年間)

年	発生件数等 発生件数 (ア)	被 害			
		死者数	負傷者数	損害額 (イ)(万円)	1件あたりの損害額 (イ)/(ア)(万円)
平成13年	334	2	41	25,011	75
平成14年	331	2	23	30,660	93
平成15年	352	0	32	22,277	63
平成16年	359	0	31	43,183	120
平成17年	392	0	19	36,543	93

(注) 発生件数には、製造所等に配管で接続された少量危険物施設等において、指定数量以上の危険物が漏えいしたものの件数を含む。

イ 平成17年中に発生した危険物施設以外の場所における漏えい事故24件の漏えいした危険物は第19表のとおりとなっている。(第19表省略)

(3) 漏えい事故の発生原因

ア 危険物施設における漏えい事故の発生原因の比率を、人的要因、物的要因及びその他の要因に区別してみると、物的要因が44.1% (173件)と最も多く、次いで人的要因が43.6% (171件)、その他の要因(不明、調

査中を含む。)が12.3% (48件)となっている。

漏えい事故の発生原因を個別にみると、腐食等劣化によるものが31.1% (122件)と最も多く、次いで確認不十分によるものが14.8% (58件)、管理不十分によるものが12.8% (50件)となっている。(第20表参照)

イ 危険物施設以外において発生した危険物漏えい事故24件の発生原因は、第21表のとおりである。(第21表省略)

第15表 危険物施設における漏えい事故の概要(平成17年中)


発生件数等 製造所等の別	発生件数 (ア)	1万施設あたりの発生件数	被 害			
			死者数	負傷者数	損害額 (イ)(万円)	1件あたりの損害額 (イ)/(ア)(万円)
製 造 所	10	20.06		1	1,484	148
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	0.19		280	280
	屋外タンク貯蔵所	61	8.22		8,526	140
	屋内タンク貯蔵所	3	2.15		41	14
	地下タンク貯蔵所	76	6.50		8,527	112
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	73	9.33	14	6,909	95
	屋 外 貯 蔵 所	1	0.83		1	1
	小 計	215	6.13	14	24,284	113
取 扱 所	給 油 取 扱 所	81	10.31	3	8,534	105
	第一種販売取扱所					
	第二種販売取扱所					
	移 送 取 扱 所	6	48.82		3	1
	一 般 取 扱 所	80	10.86	1	2,238	28
	小 計	167	10.72	4	10,775	65
合 計	392	7.67		19	36,543	93

(注) 1 発生件数には、製造所等に配管で接続された少量危険物施設等において、指定数量以上の危険物が漏えいしたものの件数を含む。
2 1万施設あたりの発生件数における施設数は、平成17年3月31日現在の完成検査済証交付施設数を用いた。

地下貯蔵タンク等の漏れの点検はお済みですか？

～平成16年4月1日 法令改正施行～

地下に埋設されたタンクおよび配管の腐蝕を発見することは大変難しく、もし、発見が遅れば大量の漏えい事故につながります。地中に拡散した油等の、回収はとても困難であり、タンクを掘り起こし周囲の土をすべて入れ換えざるを得ない場合もできます。このようなことから「地下貯蔵タンクおよび地下埋設配管に係る定期点検(漏れの点検)」の基準が見直され施行されることになりました。

OIL & MAINTENANCE
 山田砒油株式会社

〒578-0912 東大阪市角田1丁目8番26号
 Tel. 0729-62-4777
 Fax. 0729-62-4778
<http://www.ymd-o.co.jp>

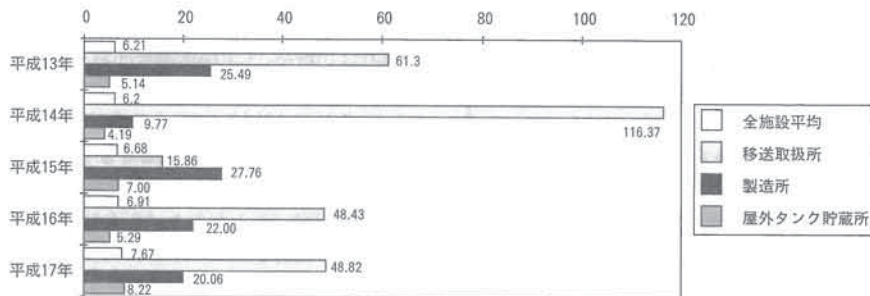
各種燃料油販売/危険物施設工事/危険物施設法定点検/危険物貯蔵所等中和洗浄工事/廃油スラッジ等処分

第16表 危険物施設における漏えい事故の危険性の推移 (最近の5年間)

製造所等の別	平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		
	件 数	危 険 性	件 数	危 険 性	件 数	危 険 性	件 数	危 険 性	件 数	危 険 性	
製 造 所	13	25.49	5	9.77	14	27.76	11	22.00	10	20.06	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所				2	0.37	2	0.37	1	0.19	
	屋外タンク貯蔵所	41	5.14	33	4.19	54	7.00	40	5.29	61	8.22
	屋内タンク貯蔵所	3	1.97	4	2.68	4	2.74	10	7.00	3	2.15
	地下タンク貯蔵所	57	4.63	60	4.91	47	3.88	64	5.36	76	6.50
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	74	9.31	72	9.00	79	9.90	65	8.19	73	9.33
	屋 外 貯 蔵 所									1	0.83
	小 計	175	4.74	169	4.62	186	5.15	181	5.08	215	6.13
取 扱 所	給 油 取 扱 所	70	8.28	74	8.89	71	8.68	84	10.46	81	10.31
	第一種販売取扱所										
	第二種販売取扱所										
	移 送 取 扱 所	8	61.30	15	116.37	2	15.86	6	48.43	6	48.82
	一 般 取 扱 所	68	8.99	68	9.00	79	10.57	77	10.36	80	10.86
	小 計	146	8.90	157	9.66	152	9.49	167	10.56	167	10.72
合 計	334	6.21	331	6.20	352	6.68	359	6.91	392	7.67	

(注) 1 発生件数には、製造所等に配管で接続された少量危険物施設等において、指定数量以上の危険物が漏えいしたものの件数を含む。
 2 漏えい危険性：危険物施設 1 万施設あたりの漏えい事故の発生件数 (危険物施設数は、各年における 3 月31日現在の完成検査済証交付施設数を用いた。)

第 5 図 危険物施設における漏えい事故の主な推移 (最近の5年間)



(注) 第16表の(注) 2 を参照のこと。

(1 万施設当たりの発生件数)

都市との共存 — 正確 安全 確実

危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査
(平成16年4月1日法改正対応)

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル TEL.06-6358-9467(代表)

ヤマト油設株式会社

〒592-8352 堺市築港浜寺西町7-2 TEL.072-269-2345

GIKEN

第20表 危険物施設における漏えい原因 (平成17年中)

製造所等の別 発生原因	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所						計	比率 (%)	平成16年				
		屋内 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小 計	給油 取扱所	第一種 販売 取扱所	第二種 販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所			小 計	件数	比率 (%)		
人的 要因	管理不十分	1		12		5		5	1	23	11				1	14	26	50	12.8	35	9.7
	誤操作					2		3		5	2				1	3	6	11	2.8	20	5.6
	確認不十分	3		3	1	9		25		38	5				1	11	17	58	14.8	44	12.2
	不作為					2		2		4	5					4	9	13	3.3	25	7.0
	監視不十分			3		1		3		7	14					18	32	39	9.9	39	10.9
物的 要因	小計	4		18	1	19		38	1	77	37				3	50	90	171	43.6	163	45.4
	腐食等劣化	3		27	1	45		4		77	26				3	13	42	122	31.1	109	30.4
	設計不良			1						1							1	0.3	5	1.4	
	故障					2				2	4					2	6	8	2.0	8	2.2
	施工不良	3		5		1		2		8						5	5	16	4.1	12	3.3
その他 の要因	破損			8	1	6		1		16	3				7	10	26	6.6	20	5.6	
	小計	6		41	2	54		7		104	33				3	27	63	173	44.1	154	42.9
	交通事故							26		26	4					4	30	7.7	24	6.7	
	地震・水害等災害			1		1				2	1					1	3	0.8	4	1.1	
	その他																			1	0.3
不明 調査中	小計	1				1		26		28	5					5	33	8.5	29	8.1	
	不明			1		1		2		4	6				2	8	12	3.0	5	1.4	
	調査中			1		1				2					1	1	3	0.8	8	2.2	
合 計	10	1	61	3	76	0	73	1	215	81	0	0	6	80	167	392	100.0	359	100.0		

(注) 1 管理不十分とは、当該施設において本来なされなければならない安全管理が不十分であったものをいう。
 2 不作為とは、本来行うべき操作を行わなかったことをいう。
 3 調査中とは、5月31日現在において、未だ調査中のものをいう。
 4 参考のため右欄に前年の件数と比率を掲載した。

安全への道 65

首都圏の大停電事故に思う

財大阪府危険物安全協会
専任講師 三村 和男

去る8月14日、首都圏で復旧に3時間、交通機関をはじめ280万軒に影響を与える大停電が起きた。

原因は次のようだ。旧江戸川の浚渫工事のため、クレーン船が4km/hrの速度で上流の工事現場に向かっていった。工事現場の手前500mのところで、船を固定する金属製の杭を打ち込む準備を始めた。責任者の指示でクレーンのアーム(長さ33m)を上げたとき送電線に接触したことが原因だった。

責任者の証言によると、全員が作業に気をとられていて送電線に気付かなかった。その背景には、「作業効率」を上げることに集中し、いつもやっている作業のようだ。

現場の映像を見る限り、周辺の障害物に対する意識が

あれば、鉄塔、「上部送電線注意」の看板(6ヶ所)も視野に入るだろう。

作業効率を上げることに否定はしないが、航行速度と手前の距離から短縮できる時間は10分以内。浚渫工事全体を知らないが、その程度でもあえて必要なのだろうか。思い込みがありはしないか。

1965年11月、ニューヨークの大停電に関する資料を読みかえてみた。概要は次のとおり。

カナダのオンタリオ州、ナイアガラの滝の近くにある発電所から、国境を越えてアメリカ北部地域に送電している送電線(23万ボルト)5本のうち1本についていた安全器が突然動き(当時の報道で誤作動だったとされている。)そのため、あとの4本に次々と過負荷がかかって遮断、大停電になる。

ニューヨークでは、停電の瞬間、地下鉄の駅、電車の内部にいた人は約60万人、うち1万人は7時間位車内にとじ込められた。エレベーターには数千人が閉じこめられたとある。

そのとき、ニューヨークを歩いていて停電に遭遇した日本人(建築評論家の神代雄一郎氏)がそのときの様子を書いているがその一部を紹介しよう。

「歩いて歩いて、ホテルにたどりついてみるとロビー

は人の群れだった。……もう午後10時をまわっていた。エレベーターはもちろん動かなかった。売店のローソクは売り切れだった。マッチをもらって時々ずって確かめながら、鉄の非常階段を昇って行く。わたしは11階だったからまだしも、途中でハイヒールを投げだし、あられもなく階段に座り込む婦人を何度もまたがねばならなかった。

生まれてこれまで、自動車とエレベーターで育った人達にとっては、10階も20階も階段を昇るということは、大げさに言えば死を意味していよう。……」

体験者の貴重な記録である。便利で、快適な都市生活にどっぷりとつかったわれわれも、大停電を想像して、その対応を考えておかねばならないだろう。停電時、エレベーターを最寄り階まで運転させるバックアップ対策の実施について、国の助成制度の実現に向かって動きはじめています。

今回の大停電で、それが引き金となった爆発、火災事故は、幸いにもなかったようだ。しかし、これまでに、停電が原因による重大な爆発事故は少ない。

1973年(昭和48年)、全国の石油コンビナート等で重大爆発、火災事故が相次いで起こった。大阪の石油コンビナートでも、停電が引き金で、半日の間に三つの重大事故が発生している。簡単に振り返っておこう。

<第一の事故> 新設脱硫装置の電源つなぎ込み中、立ってケーブルを手で支えていたが、手がすべりそのはずみで手から離れたケーブルの端が弾力ではねて、部屋の上部をとっている導電用の銅のバーに接触し、全停電になる。

<第二の事故> 停電したため、ナフサ分解炉を緊急停止する際、操作を誤まり、ナフサ配管の温度が急上昇して破壊、炉内火災が発生。

<第三の事故> 第一、二の事故によりコンビナート全体が運転停止の状態になった。しかしその情報が共同ボイラー設備部署に伝わっておらず、いつでも再稼働できるよう重油を循環していた。不完全閉止であった2ヶの噴射バルブから炉内に霧状の重油が充満、爆発した。

この事故も既に30年以上が経過。現在は、教訓を生か

した防災対策が実施されているだろう。

停電による用役(電気、冷却水、計器用空気等)の停止による危険性について、非常電源の確保、バルブ等のフェールセーフ化(安全サイドに作動)などハード面および緊急処置基準などソフト面の見直しを望む。

過去の教訓に学ぶことは、技術・技能の伝承でもある。

トピックス

試験結果は有料サービスでなくてもインターネットで充分!

結果は試験センターから葉書(無料)で通知
最近、危険物取扱者試験会場付近で「忙しくて発表を見にいけない人のために電話での合格発表を受け付けます。」と有料通知サービスの勧誘が見受けられます。(千円ぐらいが相場とか。)

しかし、そんな申込みをしなくても合格発表日の2~3日後には、(財)消防試験研究センターより受験者全員にしかも無料で「試験結果通知書」(葉書)が送付されます。

HP掲載は発表日の正午から

とはいつでも可否を少しでも早く知りたいというのが人の常ですから、そういう人達のためには合格発表日の正午からインターネットで(財)消防試験研究センターのホームページを見れば合格者の番号が掲示されています。

今のところ、一番早く可否を確かめるにはこのインターネットのホームページを利用するのがよいみたいです。

大阪で試験を受けられた方は、下記HPアドレスをご利用ください。

(財)消防試験研究センターHPアドレス

<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

(電話での可否の回答はしていません。)

なお、従来から合格者の番号を掲示しています(財)消防試験研究センター大阪府支部、大阪府総務部危機管理室(大阪府庁別館7階)、府下各消防署(消防本部又は消防署を置かない町村にあっては当該町村役場)に行っても合格者の番号が掲示されています。



Daiwa Lease
大和リースグループ

ボックス式 危険物貯蔵庫

簡単に設置可能な少量危険物屋外貯蔵庫です。



指定数量未満対応1坪タイプ

外形寸法:W2,150×L1,500×H3,070

(税込本体価格)

¥ 682,500

(価格有効期限:2007年3月31日迄)

■表示価格は本体のみ。別途、運搬設置費等が必要です。
他に指定数量10倍以下対応2坪タイプもございます。

資料請求・お問い合わせは TEL (06) 6942-8020

特徴

- 1.現場施工はクレーンでの据付のみでスピーディ
- 2.ボックス式で、移設も可能
- 3.必要な設備は標準装備済み
(ベンチレータ、留めマス、鋼板製床等)

大和工商リース株式会社

本社:〒540-0011 大阪府中央区農人橋2丁目1番36号ビッパル
ISO9001/ISO14001認証取得

ダイワリース

www.daiwakosho.co.jp

平成18年度 保安講習について

保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、いわゆる法定講習です。

危険物製造所等（危険物を貯蔵したり取扱っている施設）で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者は定められた期間内に受講しなければなりません。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱いに従事した日から、1年以内（ただし、免状を取得した日、又は前回講習会を受講した日から3年以内）となっています。（規則第58条の14）

平成18年度の受講申請について

保安講習受講申請は原則として郵送受付で行なっております。

受講手数料(4,700円)は郵便払込で、また、今年度より、申請書の書式が変更となっていますので、旧年度の申請書は使用できませんのでご注意ください。

郵送期間は受講希望日の日程ごとに、それぞれ2期～4期に分けて行なっておりますので予定表を参照の上、下記期間内に送付してください。

（定員に達しなかった講習会場については、各講習日の1週間前まで追加申請受付を行っています。TEL06-6538-1935でお問合せの上、手続きをお願いします。）

なお、平成18年度保安講習受講申請書（開催案内・申請専用封筒(黄色)・専用郵便払込用紙・申請書）は府下各消防本部及び消防署予防課で配布しています。

◇受付期間

郵送 受付	3期	10月18日(水)～10月24日(火)	消印分
	4期	1月26日(金)～2月1日(水)	消印分

持込 受付	3期	10月19日(木)～10月20日(金)
	4期	1月29日(月)～1月30日(火)

平成18年度 保安講習会予定表 (平成18年10月2日～平成19年2月21日)

◇一般の部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期 (注1)	33	10月4日	水	大阪府商工会館	13:30
	35	10月6日	金	*堺市民会館	13:30
	37	10月10日	火	守口門真商工会館	13:30
	44	10月24日	火	八尾市消防本部	13:30
	45	10月27日	金	大阪府商工会館	13:30
3期	46	11月1日	水	メセナひらかた	13:30
	47	11月2日	木	メセナひらかた	13:30
	48	11月14日	火	富田林市消防本部	13:30
	49	11月16日	木	柏羽藤消防本部	13:30
	50	11月20日	月	大東市消防本部	13:30
	51	11月27日	月	高槻市消防本部	13:30
	52	11月28日	火	高槻市消防本部	13:30
	53	11月29日	水	大阪府商工会館	13:30
	54	12月4日	月	吹田メインシアター	13:30
	55	12月6日	水	大阪府商工会館	13:30
4期	56	2月6日	火	大阪府商工会館	13:30
	57	2月9日	金	東大阪市会館	13:30
	58	2月13日	火	茨木市福祉文化会館	13:30
	59	2月14日	水	*サンスクエア堺	13:30
	60	2月16日	金	*サンスクエア堺	13:30
	61	2月19日	月	大阪府商工会館	13:30
	62	2月21日	水	東大阪市市民会館	13:30

◇コンビナートの部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期 (注1)	32	10月2日	月	*堺市民会館	13:30
	34	10月5日	木	住友金属工業㈱	13:00
	38	10月11日	水	*堺市民会館	13:30
	39	10月16日	月	*堺市民会館	13:30
	41	10月18日	水	住友金属工業㈱	13:00
	43	10月20日	金	*堺市民会館	13:30

◇タンクローリーの部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期 (注1)	36	10月6日	金	*堺市民会館	17:30
	40	10月16日	月	*堺市民会館	17:30

注1. 2期分につきましては9月15日現在で空席が残っている会場です。

定員に達するまで受付しますのでTEL06-6538-1935で確認の上、手続きしてください。

- 各会場とも駐車場は使用できません。ただし、会場欄中*印は有料駐車場があります。
- 講習時間は3時間です。